

177 中央大学外五大学を大学令により設立する件に付指令

〔大正九年四月〕

(注記2)

回

中央大学外五大学ヲ大学令ニ依リ設立スルノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正九年四月十日

内閣総理大臣 原敬 花押(原)

(注記3)

(注記4)

大正九年四月八日

内閣書記官

(下條)
印 (別府)
印

内閣総理大臣

内閣書記官長

印 (高橋)

(注記5)

文部大臣上奏

一 中央大学ヲ大学令ニ依リ設立スルノ件

一 日本大学 同上

一 法政大学 同上

一 明治大学 同上

一 国学院大学 同上

一 同志社大学 同上

右孰レモ相当ノ儀ト被認ニ付上裁ヲ經テ左ノ通指令相成然ルヘ

シ

指令案

中央大学ヲ大学令ニ依リ設立スルノ件上奏ノ通裁可ヲ経タリ

(加筆・朱書)
大正九年四月十二日指令

日本大学以下前同文

同上

法政大学以下前同文

同上

明治大学以下前同文

同上

国学院大学以下前同文

同上

同志社大学以下前同文

同上

(朱書)
参照

大学令

第八条 公立及私立ノ大学ノ設立廃止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ学部ノ設置廃止亦同シ
前項ノ認可ハ文部大臣ニ於テ勅裁ヲ請フヘシ

文部省東專六号

(注記6)

別紙中央大学ヲ大学令ニ依リ設立スルノ件上奏書進達ス

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

内閣総理大臣 原 敬 殿

(注記7)

財団法人中央大学ニ於テ大学令ニ依リ中央大学ヲ設立スルノ件申請有之審査スル処規模設備大学トシテ適當ナリト認ム依テ之ヲ認可セントス茲ニ謹テ

宸裁ヲ仰ク

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

文部省東專六二号

(注記8)

別紙日本大学ヲ大学令ニ依リ設立スルノ件上奏書進達ス

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

内閣総理大臣 原 敬 殿

(注記9)

財団法人日本大学ニ於テ大学令ニ依リ日本大学ヲ設立スルノ件申請有之審査スル処規模設備大学トシテ適當ナリト認ム依テ之ヲ認可セントス茲ニ謹テ

宸裁ヲ仰ク

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

(注記10)

文部省東專二六三号

別紙法政大学ヲ大学令ニ依リ設立スルノ件上奏書進達ス

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

内閣総理大臣 原 敬 殿

(注記11)

財団法人法政大学ニ於テ大学令ニ依リ法政大学ヲ設立スルノ件

申請有之審査スル処規模設備大学トシテ適當ナリト認ム依テ之ヲ認可セントス茲ニ謹テ宸裁ヲ仰ク

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

文部省東專二八二号

(注記12)

別紙明治大学ヲ大学令ニ依リ設立スルノ件上奏書進達ス

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

内閣総理大臣 原 敬 殿

(注記13)

財団法人明治大学ニ於テ大学令ニ依リ明治大学ヲ設立スルノ件申請有之審査スル処規模設備大学トシテ適當ナリト認ム依テ之ヲ認可セントス茲ニ謹テ宸裁ヲ仰ク

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

文部省東專九号

(注記14)

別紙国学院大学ヲ大学令ニ依リ設立スルノ件上奏書進達ス

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

内閣総理大臣 原 敬 殿

(注記15)

財団法人皇典講究所ニ於テ大学令ニ依リ国学院大学ヲ設立スルノ件申請有之審査スル処規模設備大学トシテ適當ナリト認ム依テ之ヲ認可セントス茲ニ謹テ宸裁ヲ仰ク

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

文部省京專一〇三号

(注記16)

別紙同志社大学ヲ大学令ニ依リ設立スルノ件上奏書進達ス

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

内閣総理大臣 原 敬 殿

(注記17)

財団法人同志社ニ於テ大学令ニ依リ同志社大学ヲ設立スルノ件申請有之審査スル処規模設備大学トシテ適當ナリト認ム依テ之ヲ認可セントス茲ニ謹テ宸裁ヲ仰ク

大正九年四月八日

文部大臣 中橋徳五郎 印

参考書(其一)

中央大学

一、大学ノ名称

中央大学

二、学部ノ種類及各学部ノ学科

法学部

経済学部

商学部

三、大学院及大学予科

大学院及大学予科ヲ設置ス

予科ヲ左ノ如ク分ツ

第一部 法学部、経済学部

第二部 商学部

四、入学資格、修学年限、学士称号及授業料

各学部入学資格

本大学予科ヲ修了シタル者、高等学校高等科ヲ卒リタル者又ハ之ト同等以上ノ学力アリト認めラレタル者

予科入学資格

中学校第四学年ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ学力アリト認めラレタル者

予科

修学年限

各学部 三箇年

予科 三箇年

学士称号

法学士

経済学士

商学士

授業料

学部 六十六円

予科 六十六円

五、位置及校地

位置

東京市神田区錦町二丁目二番地及五番地

校地面積

千三百坪余

六、校舎及設備

教室及講堂坪数(延坪)

現在分

学部 三五四

予科 一三〇

計 四八四

増築分

予科 二二二

図書館 二四〇

計 四七二

教室及講堂数

現在分

学部 七

予科 五

計 一二

増築分(予科)

一九

図書部数

洋書

一、三六二

其他

六、〇九五

計

七、四五七

七、各学部及予科在学者定数

法学部

四〇〇

経済学部

二〇〇

商学部

三五〇

予科

九六〇

計

一、九一〇

八、開設当時各学部及予科専任教員

法学部

三名

法学博士

大場茂馬

同

岡松参太郎

文学士

瀧村斐男

経済学部

二名

法学博士

桑田熊藏

同

稲田周之助

商学部

二名

商学士

太田哲三

同

松浦 要

予科

八名

文学士

増子懐永

同

手塚光貴

同

片山 毅

同

大久保省三

同

金田鬼一

同

堀 竹雄

理学士

根津千治

金澤卯一

九、開設期日

大正九年四月一日

十、経費及維持ノ方法

維持ノ方法

本大学ハ財団法人中央大学ノ設立ニカ、リ授業料、供託金ノ利子其他ノ収入ヲ以テ維持ス

増築及設備ニ関スル計画

予科教室(大正九年四月落成) 建築費十万円、図書館(大正十年三月落成) 建築及設備費十二万円、図書購入費二万五千円、計二十四万五千円ハ三宅碩夫ノ寄附ニカ、リ必要ニ応シ其ノ都度払込ヲ受クルモノトス

基本財産供託ノ方法

供託金七十万円ハ之ヲ六箇年ニ分割供託シ第一年度(大正九年)乃至第五年度ハ各年十一万七千円、第六年度ハ十一万五千円トス

各年分供託金充当ノ方法左ノ如シ

第一年(大正九年) 一一七、〇〇〇円

第二年(大正十年) 一一七、〇〇〇

計 一三四、〇〇〇

現在所有ノ現金及有価証券 二四三、三一八

第三年(大正十一年) 一一七、〇〇〇

大正十年末収納寄附金 二四六、六三五

第四年(大正十二年) 一一七、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 一二九、六三五

大正十一年末収納寄附金 七六、五〇五

計 二〇六、一四〇

第五年(大正十三年) 一一七、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 八九、一四〇

大正十二年末収納寄附金 七四、九八〇

計 一六四、一二〇

第六年(大正十四年) 一一五、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 四七、一二〇

大正十三年末収納寄附金 七二、三六〇

計 一一九、四八〇

大正九年度予算

収入

授業料 二六、四〇〇 予科三二〇人 学部八〇人 計四〇〇人 一人六十六円

供託金利子 四、六八〇

入学科其他 二、六五〇

計 三三、七三〇

支出

教員給 四四、八三〇 予科九人、一人、一、七五〇円 学部十八人、一人、一、七三八円

其他 八、二八四

計 五三、一一四

差引

不足額 一九、三八四 専門部経費剰余四二、九五三元 ノ内ヲ以テ補填ス

完成年度(大正十四年度) 予算

収入

授業料 一〇七、〇五二 在学者一、六三二人 一人六十六円

供託金利子二八、〇〇〇

入学科其他 三、五〇〇

計 一三八、五五二

支出

教員給 一〇九、一二五 予科二五人、一人二、九〇〇円 学部二八人、一人二、二〇〇円

其他 二九、四二七

計 一三八、五五二

参考書(其二)

中央大学(学科課程)

法学部

憲法	第一学年		第二学年		第三学年	
	科目	毎週授業時数	科目	毎週授業時数	科目	毎週授業時数
必修科目						
三	民法(債権各論)		二	民法(相続)		二

予科入学資格

中学校卒業者又ハ之ト同等以上ノ学力アリト認メラレ

タル者

修学年限

各学部 三箇年

予科 二箇年

学士称号

法学士又ハ文学士

商学士

授業料

各学部 六十六円

予科 六十六円

五、位置及校地

位置

東京市神田区三崎町三丁目一番地

校地面積

九百二十坪

六、校舎及設備

教室及講堂坪数(延坪)

現在分

学部 一七八

予科 一六一

計 三三九

増築分

学部

二二三

予科

四二

計

二七五

教室及講堂数

現在分

学部 一〇

予科 一〇

計 二〇

増築分

学部 四

予科 四

計 八

図書部数

洋書

二、一三〇

其他

九、一七〇

計

一一、三〇〇

七、各学部及予科在学者定数

法文学部

四〇〇

商学部

二五〇

予科

七二〇

計

一、三七〇

八、開設当時各学部及予科専任教員

法文学部

八名

法学博士

石渡敏一

文学博士 遠藤隆吉

ドクトル、オブ、ロー 川口義久

ドクトル、ユリス 梅原錦三郎

法学士 島田武夫

法学士 澁川諭喜智

文学士 佐々木英夫

文学士 圓谷 弘

商学部 四名

佐々木梅治

水野忠丸

マスター、オブ、アーツ 大桐馨毅

商学士 渡部 明

予科 七名

峯間信吉

文学士 手塚宏壽

同 佐久間 鼎

商学士 田中美也司

同 柳楽健治

文学士 本田親二

文学士 渡邊 徹

九、開設期日

大正九年四月一日

十、経費及維持ノ方法

維持ノ方法

本大学ハ財団法人日本大学ノ設立ニカ、リ授業料、基金ノ利子其他ノ収入ヲ以テ維持ス

増築及設備ニ関スル計画

新築校舎（大正九年四月落成）建設費拾二万三千元ノ

内未払額七万八千元ハ財産法人日本大学理事鈴木喜三

郎、岡山岡萬之助ノ寄附金ヲ以テ之ニ充テ図書購入費

一万円ハ九年度及十年度経常費ノ内ヨリ之ヲ支弁ス

基本財産供託ノ方法

供託金六拾万円ハ各年十万円宛六ヶ年ニ分割供託ス

各年分供託金充当ノ方法左ノ如シ

第一年（大正九年） 一〇〇、〇〇〇円

現在所有有価証券 一四八、〇〇〇

第二年（大正十年） 一〇〇、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 四八、〇〇〇

大正九年未収納寄附金 九一、六一四

計 一三九、六一四

大正九年度経費不足ニ充当額 二四、三九〇

差引残 一一五、二二四

第三年（大正十一年） 一〇〇、〇〇〇

前年度供託金充当ノ残額 一五、二二四

大正十年未収納寄附金 九〇、一六三

計 一〇五、三八七

第四年（大正十二年） 一〇〇、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 五、三八七

大正十一年末収納寄附金 一六四、六九〇

計 一七〇、〇七七

第五年(大正十三年) 一〇〇、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 七〇、〇七七

大正十二年末収納寄附金 一六四、五四七

計 二三四、六二四

第六年(大正十四年) 一〇〇、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 一三四、六二四

大正十三年末収納寄附金 三八、七四五

計 一七三、三六九

大正九年度予算

収入

授業料 三〇、三六〇円予科四〇〇人、一人六十六円

基本金利子 六、〇〇〇

入学科其他 一、八五〇

計 三八、二一〇

支出

教員給 五二、九〇〇予科専任七人、一人一、五〇〇円
同兼任給計 一五、九〇〇円
学部専任三人、一人一、五〇〇円
同兼任給計 七、〇〇〇円

其他 九、七〇〇

計 六二、六〇〇

差引 六二、六〇〇

不足額 二四、三九〇寄附金ノ内ヲ以テ
補填ス

完成年度(大正十四年度) 予算

収入

授業料 九〇、四二〇在学者一、三七〇人
一人六十六円

基本金利子 二四、〇〇〇

入学科其他 三、九〇〇

計 一二八、三二〇

支出

教員給 一〇二、四〇〇予科専任二〇人一人一、五〇〇円
同兼任給計 一九、二〇〇円
学部専任二〇人一人一、五〇〇円
同兼任給計 二三、二〇〇円

其他 一五、九二〇

計 一二八、三二〇

参考書(其二)

日本大学(学科課程)

法文学部

法律科

必修科目

民法	部別		憲法	刑法	行政法
	第一部	第二部			
物権 自第一章 至第六章	全部	全部	全部	総則	総則
二	二	二	二	二	二
物権自第七章 至第十章	全部	全部	各論	汎論	債権総則
二	二	二	二	二	二
相続編	全部	全部	各論	各論	債権各論
二	二	二	二	二	二

計	心理学	社会学	羅馬法	財政学	法理学	法制史	科目 部別		
							第一部	第二部	第三部
							毎週授業時数		
四	二					二			
							毎週授業時数		
四		二	二						
							毎週授業時数		
四				二	二				

選択科目

備考外国法ハ英法、独法ノ中一ヲ選択スルモノトス

計	卒業論文	外国法		国際私法	国際公法	刑事訴訟法	民事訴訟法	商法	—
		独逸法	英吉利法						
					平時	自第一編 至第三編	第一編	総則 商行為	親族権
二四		(一)	四			二	二	二	二
					戦時	第四編以下 全部	第二編	会社法 保険法	
二二		(一)	二		二	二	二	四	
				全部			第三編以下 全部	海商法、手形法 破産法	
二二		(一)	二	二			四	二	四

外国法	独逸法	卒業論文	外交史	社会学	政治学史	政治学	経済政策	経済原論	財政学	国際公法	民法			行政法	刑法	憲法	科目 部別		
											親族権	物権 自第一章 至第二章	総則				第一部	第二部	第三部
								英文		平時				総則	全部		毎週授業時数		
(一)	四			二		二		二		二		二	二	二	二				
								英文		戦時				物権 自第七章 至第十章	債権総論	汎論	各論		毎週授業時数
(一)	二					二	二			二		二	二	二	二	二			
									全部					相統編	債権各論	各論		毎週授業時数	
(一)	二		二			二			二					二	二	二			

法律科学生ハ選択科目三科目以上ヲ三ヶ年中ニ選定履修ス
ヘシ
政治科
必修科目

選択科目

計	卒業論文	演習	政治学	経済学			法学			歴史	社会学		哲学				倫理
				経済原論(文英)	農工、商、交通	銀行 貨幣	民法総則	刑法総則	憲法		最近世史	社会政策	社会学	西洋哲学史	(東洋倫理学史)	支那哲学史	心理学
二四				一			二	二	二	二		二	二	二	二	二	二
			政治学	経済学史	經濟政策		親族編	行政法(社会行政法)		最近世史	晩近社会思想	社会学史	社会統計				
二四			二	二	四	四	二	二		二	二	二	二				
			政治学史	財政学	殖民政策		相続編	刑事政策	法理学 國際公法(平時)				少年保護 貧民保護 其他社会問題				
二〇		二	二	二	二		二	二	二				二				

商業英語	経済学	商業学		科目 部別
		商業政策	銀行及金融	
商業文	經濟原論(文英)	二	二	第一部 毎週授業時数
	計理学	二	二	第二部 毎週授業時数
	財政学	二	二	第三部 毎週授業時数

必修科目

商学部
商科

備考 社会科学学生ハ選択科目七科目中三科目以上ヲ三ヶ年中ニ選定履修スヘシ尚随意科目トシテ法制史、教育学、商法(総則(商行為) 刑法各論ヲ置ク

計	行政一般	都市計画	労働問題	工場管理	銀行論	保険学	新聞学	科目 部別
二					二			第一部
四	二						二	第二部
八		二	二	二	二			第三部

科目	商業学			経済学			統計学
	商品学	取引所	貨幣論	農業政策	工業政策	社会政策	
第一部	毎週授業時数	二	二	二	二	二	二
第二部	毎週授業時数	二	二	二	二	二	二
第三部	毎週授業時数	二	二	二	二	二	二

選択科目

備考 第二外国語ハ独逸語、仏蘭西語、支那語ノ中其一ヲ
 選択スルモノトス但シ仏蘭西語ハ当分之ヲ欠ク

計	卒業論文	外国法	商法	民法
二〇	二	四	二	二
一六	二	四	二	二
一四	二	四	二	二

- 一、大学ノ名称
 法政大学
- 二、学部ノ種類及各学部ノ学科
 法学部
 法律学科
 政治学科
 経済学部
 経済学科
 商業学科
- 三、大学院及大学予科
 大学院及大学予科ヲ設置ス
 予科ヲ左ノ如ク分ツ
 法学部予科
 経済学部予科

参考書(其一)

法政大学

備考 商科学生ハ選択科目十七科目中十科目以上ヲ三ヶ年
 中ニ選定履修スヘシ

計	外交史	社会学	商法
一二	二	二	二
一〇	二	二	二

四、入学資格、修学年限、学士称号及授業料

各学部入学資格

本大学予科ヲ修了シタル者、高等学校高等科ヲ卒リタル者又ハ之ト同等以上ノ学力アリト認めラレタル者

予科入学資格

中学校卒業者又ハ之ト同等以上ノ学力アリト認めラレタル者

修学年限

各学部 三箇年

予科 二箇年

学士称号

法学士

経済学士

授業料

学部 六十五円

予科 五十五円

五、位置及校地

位置

東京市麴町区富士見町六丁目十六番地

校地面積

三百九十四坪余

増築予定地

東京市麴町区富士見町四丁目十二、十三番地

同上面積

六、校舎及設備

千六百六十三坪余

教室及講堂坪数(延坪)

現在分

学部

九二、

予科

二二二、

計

三〇四、

増築分

学部

三〇〇、

予科

六〇〇

其他

一〇〇、

計

一、〇〇〇、

教室及講堂数

現在分

学部

五、

予科

七、

計

一二、

増築分

学部

一〇、

予科

三〇、

其他

一、

計

四一、

図書部数

洋書

二、九七九、

其他

二四、七八四、

計

二五、七六三、

七、各学部及予科在学者定数

十、経費及維持ノ方法

維持ノ方法

法学部

六〇〇、

経済学部

九〇〇、

予科

一、二〇〇、

計

二、七〇〇、

八、開設当時各学部及予科専任教員

法学部

二名

法学博士

乾 政彦

法学士

東 季彦

経済学部

二名

法学士

高木友三郎

文学士

高山兼吉

予科

八名

文学士

野上豊一郎

同

皆川正禧

同

松浦嘉一

同

森田米松

同

長 連恒

同

沼波武夫

同

安倍能成

同

内田榮造

九、開設期日

大正九年四月一日

十、経費及維持ノ方法

維持ノ方法

本大学ハ財団法人法政大学ノ設立ニカ、リ授業料、供託金ノ利子、寄附金其他ノ収入ヲ以テ維持ス

増築及設備ニ関スル計画

新築校舎（大正十年三月二十日落成）建築費三十八万

九百三十五円ハ神戸舉一外八名ノ寄附金ヲ以テ之ニ充

テ図書購入費一万二千二百八十円ハ現在財団法人法政大

学ノ所有スル有価証券ヲ処分シテ之ニ充ツ

基本財産供託ノ方法

供託金六十万円ハ一箇年金十万円宛六箇年ニ分割供託

ス

各年分供託金充当ノ方法左ノ如シ

第一年（大正九年） 一〇〇、〇〇〇、

現在所有公債 一〇〇、〇〇〇、

第二年（大正十年） 一〇〇、〇〇〇、

現在所有現金 五〇、〇〇〇、

大正九年末収納寄附金 一四一、〇〇〇、

計 一九一、〇〇〇、

第三年（大正十一年） 一〇〇、〇〇〇、

前年度供託金充当ノ残額 九一、〇〇〇、

大正十年末収納寄附金 八四、〇〇〇、

計 一七五、〇〇〇、

第四年（大正十年） 一〇〇、〇〇〇、

前年供託金充当ノ残額 七五、〇〇〇、

大正十一年末収納寄附金 八四、〇〇〇、

計 一五九、〇〇〇、

第五（大正十三年） 一〇〇、〇〇〇、

前年供託金充当ノ残額 五九、〇〇〇、

大正十二年末収納寄附金 七四、〇〇〇、

計 一三三、〇〇〇、

第六年（大正十四年） 一〇〇、〇〇〇、

前年供託金充当ノ残額 三三、〇〇〇、

大正十二年末収納寄附金 七四、〇〇〇、

計 一〇七、〇〇〇、

大正九年度予算

収入

授業料 二五、二五〇、
子科四〇〇人一人五五円
 学部五〇〇人一人六五円

供託金利子 四、〇〇〇、

寄附金 五〇、〇〇〇、
神戸舉一外三名即納
 寄附金

入学金 一、五〇〇、

計 八〇、七五〇、

支出

教員給 四〇、二〇〇、
子科専任一〇人、一、七〇〇円
 学部専任四人、一、八〇〇円
 兼任五人、六四〇円

其他 四〇、五五〇、

計 八〇、七五〇、

完成年度（大正十四年度） 予算

収入

授業料 一六三、五〇〇、
子科一、二〇〇人、
 学部一、五〇〇人、
 一人六五円

供託金利子二四、〇〇〇、

入学金 三、〇〇〇、

計 一九〇、五〇〇、

支出

教員給 一三一、六四〇、
専任六二人一人、七〇〇円
 兼任四人一人、六四〇円

其他 五八、八六〇、

計 一九〇、五〇〇、

参考書（其二）

法政大学（学科課程）

法学部

法律学科

学科	学年	毎週	
		授業 時数	授業 時数
憲法	第一学年	二	
民法	第一学年	六	
民法	第二学年		四
刑法	第一学年		二
刑法	第二学年		各論
商法	第一学年		二
商法	第二学年		四
行政法	第一学年		二
行政法	第二学年		四
行政法	第三学年		各論
国際公法	第一学年	四	
国際公法	第二学年		各論

経済原論	憲法	学科	学年
			授業 時数
四	二		第一学年
		授業 時数	第二学年
		授業 時数	第三学年

政治学科

英吉利法、独逸法、仏蘭西法ハ入学ノトキ一科目ヲ択ハシム
 選択科目第一学年ハ羅馬法、法制史トシ第二学年ハ国法学、刑事政策、西洋法制史トシ第三学年ハ海法、財政学、社会政策トス
 選択科目ハ毎学年ノ始ニ於テ一科目ヲ択バシム但ニ二科目ヲ修ムルコトヲ妨ケズ

計	破産法	法理学	選択科目	独逸法	仏蘭西法	英吉利法	経済原論	刑事訴訟法	民事訴訟法	国際私法
二 二			二		四		二			
二 二			二		四			二	四	
二 二	二	二	二		四				二	二

計	選択科目	統計学	交通政策	国家学(外国語)	植民政策	経済政策	社会学	外交史	政治史	社会政策	刑法	商法	民法	国際公法	行政法	政治学	国法学	財政学
二 二	二			二			二				二		四	二		二		
二 二	二			二	二	二					総論							
二 二	二	二	二	二		二		二	二			二	四		四			二
															各論	総論		

国(マ)家(外国語)ハ英語、独語又ハ仏語トシ入学ノトキ其一ヲ択ハシム
 選択科目ハ第一学年ハ経済史、法制史トシ第二学年ハ貨幣銀行論、西洋法制史トシ第三学年ハ工業経済、国際私法、

法理学トス

選択科目ハ毎学年ノ始ニ於テ一科目ヲ択ハシム但ニ二科目ヲ修ムルコトヲ妨ケス

経済学部

経済学科

学科	学年		
	毎週授業時数	第一学年	毎週授業時数
経済原論	四		毎週授業時数
経済史	二		第二学年
経済地理	二		毎週授業時数
統計学		二	
憲法	二		第二学年
行政法	二		毎週授業時数
民法	二		第三学年
経済学(外国語)	四		毎週授業時数
社会学	二		
貨幣銀行論			
商業経済			
交通経済			
植民政策			
商法		二	
国際金融論		二	
農政学		二	

工業経済									
社会政策						二			
保険学									
財政学								四	
経済学史								二	
選択科目		二						二	
計	二	二	二	二	二	二	二	二	二

経済学(外国語)ハ英語、独語又ハ仏語トシ入学ノトキ其一ヲ択ハシム

選択科目ハ第一学年ハ簿記原理、取引所論、鉄道論トシ第二学年ハ倉庫論、外国為替、林政学トシ第三学年ハ応用財政論、社会保険論、交通政策、鉱業論トス
 選択科目ハ毎学年ノ始ニ於テ一科目ヲ択ハシム但ニ二科目ヲ修ムル事ヲ妨ケス

商業学科

学科	学年		
	毎週授業時数	第一学年	毎週授業時数
経済原論	四		毎週授業時数
商業史	二		第二学年
経済地理	二		毎週授業時数
商業算術	二		
簿記計算 <small>(抹消加筆)</small> <small>(術)(学)</small>	二	二	
商品学	二		第三学年

カアリト認メラレタル者

修学年限

学部 三箇年

予科 三箇年

学士称号

法学士

商学士

授業料

学部 六十六円

予科 六十六円

五、位置及校地

位置

東京市神田区駿河台南甲賀町一四、一五、一六番地

校地面積

二千七百二十二坪余

増築予定地

東京市神田区裏猿楽町六番地

同上面積

千六百二十七坪余

六、校舎及設備

教室及講座坪数(延坪)

現在分

学部

予科

六四六

二八四

計

増築分(予科)

教室及講座数

現在分

学部

予科

計

増築分(予科)

図書冊数

洋書

其他

計

七、各学部及予科在学者定数

法学部

商学部

予科

計

八、開設当時各学部及予科専任教員

法学部

法学博士

同

ドクトル、ユリス

商学部

二名

九三〇

三八三

九

一一

二〇

二〇

一、六六九

一一、〇七七

一三、七四六

六〇〇

五〇〇

九六〇

二、〇六〇

四名

岡田朝太郎

河村讓三郎

松本重敏

岡田庄作

ス

各年分供託金充当ノ方法左ノ如シ

第一年(大正九年) 一〇〇、〇〇〇円

現在所有ノ現金及有価証券 二七三、四二二、

予科建築費 一六一、三四四

九年度経費補充額 一一、九二八

差引残額 一〇〇、一四〇

第二年(大正十年) 一〇〇、〇〇〇、

前年供託金充当ノ残額 一四〇

大正九年末収納寄附金 一二〇、一七八

計 一二〇、三一八

第三年(大正十一年) 一〇〇、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 二〇、三一八

大正十年末収納寄附金 一〇三、七八六

計 一二四、一〇四

第四年(大正十二年) 一〇〇、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 二四、一〇四

大正十一年末収納寄附金 一一二、四六三

計 一三六、五六七

第五年(大正十三年) 一〇〇、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 三六、五六七

大正十二年末収納寄附金 一〇三、一八〇

計 一三九、七四七

第六年(大正十四年) 一〇〇、〇〇〇

予科

法学博士 小林丑三郎

商学士 中村茂男

八名

文学士 渡邊半次郎

ドクトル、オブ
フイロンフキー
山田惣七

マスター、オブ
アーツ 大桐馨毅

文学士 佐川春水

文学士 松坂善吉

理学士 遠藤又藏

同 松村定次郎

文学士 笹川種郎

九、開設期日

大正九年四月一日

十、経費及維持ノ方法

維持ノ方法

本大学ハ財団法人明治大学ノ設立ニカ、リ授業料、供

託金ノ利子其他ノ収入ヲ以テ維持ス

増築及設備ニ関スル計画

予科教室(大正九年中ニ落成) 建築費十六万三千三百四

十三円ハ現在財団法人明治大学ノ所有スル現金及公債

計二十七万三千四百十二円ノ内ヲ以テ之ニ充テ、図書

購入費ハ特志家ノ確実ナル寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

基本財産供託ノ方法

供託金六十万円ハ一個年金十万円宛六個年ニ分割供託

前年供託金充当ノ残額 三九、七四七
 大正十三年末収納寄附金 八六、六六二
 計 一二六、四〇九

大正九年度予算

収入

授業料 四六、二〇〇 学部三〇〇人、予科四〇〇人
計七〇〇人、一人六十六円
 供託金ノ利子四、〇〇〇
 入学金其他 二、三〇〇
 計 五二、五〇〇

支出

教員給 四一、八七三 学部専任六人 一人二、〇〇〇円
同兼任一〇人 一人五、一四円
予科専任九人 一人二、〇一七円
同兼任八人 一人八、二五円
 其他 二二、五五五
 計 六四、四二八

差引

不足額 一一、九二八 現在所有ノ現金及有価証券
券ノ内ヨリ補填ス

完成年度(大正十四年度) 予算

収入

授業料 一三三、九九〇 在学者二、〇一五人
一人六十六円
 供託金利子二四、〇〇〇
 入学金其他 六、九五〇
 計 一六三、九四〇

支出

教員給 一〇四、七七四 学部専任一六人 一人二、四〇〇円
同兼任一四人 一人六〇〇円

其他 五六、〇三〇、
 計 一六〇、八〇四、

参考書(其ノ二)

明治大学(学科課程)

法学部

法律学科

必修科目

一週授業時数	学年			計
	第一学年	第二学年	第三学年	
憲法	二			二
民法	二	三	二	一七
刑法	二	二		四
商法		六	四	一〇
民事訴訟法		二	四	六
刑事訴訟法		二		二
英法				
独法	ノ中科目四	ノ中科目四	ノ中科目四	一二
仏法				
計	二〇	一九	一四	五三
選択科目				
法制史	二			二
経済学	四			四

予科専任一八人 一人二、〇一四円
 同兼任一三人 一人二、五六円

学科目	一週授業時数				学年
	第一学年	第二学年	第三学年	計	
外交史			二	二	二
政治学史			二	二	二
経済政策			四	四	四
政治史		二		二	二
財政学		四		四	四
社会学		一		一	三
経済学				四	四
国際公法				四	二
憲法				二	三
政治学				三	三

必修科目
政治学科

計	六	七	一一	二四
演習			一	一
社会政策			二	二
経済政策			二	二
破産法			二	二
法理学			二	二
国際私法			二	二
国際公法		四		四
行政法		三		三

学科目	一週授業時数			
	第一学年	第二学年	第三学年	計
会计学	四	三		七

必修科目
商学部

計	一三	一〇	一一	三五
経済史	二			二
法制史	二			二
統計学	一			一
会计学	三			三
社会政策			二	二
法理学			二	二
国際私法			二	二
刑法	二	二		四
商法		三	三	六
民法	三	三	三	九
比較憲法		二		二
選択科目				
計	一九	一六	一二	四七
行政法		三		三
英文政治	四	四	四	一二
地方自治		二		二

国学院大学

二、学部ノ種類及学科

文学部

道義学科

国史学科

国文学科

三、研究科及大学予科

研究科及大学予科ヲ設置ス

四、入学資格、修学年限、学士称号及授業料

学部入学資格

本大学予科ヲ終了シタル者、高等学校高等科ヲ卒リタルモノ又ハ之ト同等以上ノ学力アリト認めラレタル者

予科入学資格

中学校卒業者又ハ之ト同等以上ノ学力アリト認めラレ

タル者

修学年限

学部 三箇年以上六箇年

予科 二箇年

学士称号

文学士

授業料

学部 七十円

予科 五十円

五、位置及校地

位置

東京市麴町区飯田町五丁目八番地

校地面積

千二百九十六坪余

六、校舎及設備

教室及講堂坪数(延坪)

学部

予科

計

教室及講堂数

学部

予科

計

図書部数

洋書

其他

計

七、学部及予科在学者定数

学部

予科

計

八、開設当時専任教員

予科

同

一三六

四〇

三七六

一一

二

一三

五三三

九、九二八

一〇、四四一

一一〇

八〇

二〇〇

小山龍之助

増田寅雄

九、開設期日

大正九年四月

十、経費及維持方法

維持ノ方法

本大学ハ財団法人皇典講究所ノ設立ニカ、リ授業料基
本金利子、寄附金其他ノ収入ヲ以テ維持ス

増築及設備ニ関スル計画

図書館建築費二万四千円、図書購入費一万一千円、計
三万五千円ハ現在財団法人皇典講究所所有現金ノ内二
千円及大正九、十、両年度本大学経費剰余金三万四千
四百二十八円計三万六千四百二十八円ヲ以テ之ニ充ツ

基本財産供託ノ方法

供託金五十万円ハ六箇年ニ分割供託シ初年度（大正九
年）乃至第五年度ハ各八万四千円、第六年度ハ八万円
トス

各年分供託金充当ノ方法左ノ如シ

第一年（大正九年） 八四、〇〇〇円

現在所有ノ現金及有価証券 一八七、〇〇〇

増築及設備費ニ充当ノ分 二、〇〇〇

差引 一八五、〇〇〇

第二年（大正十年） 八四、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 一〇一、〇〇〇

宮内省御下賜金大正九年分 一〇、〇〇〇

大正九年末収納寄附金 七二、五二三

計 一八三、五二三

第三年（大正十一年） 八四、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 九九、五二三

宮内省御下賜金大正十年分 一〇、〇〇〇

大正十年末収納寄附金 六一、二七二

計 一七〇、七八五

第四年（大正十二年） 八四、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 八六、七八五

宮内省御下賜金大正十一年分 一〇、〇〇〇

大正十一年末収納寄附金 四九、五〇八

計 一四六、二九三

第五年（大正十三年） 八四、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 六二、二九三

宮内省御下賜金大正十二年分 一〇、〇〇〇

大正十二年末収納寄附金 四一、六四七

計 一一三、九四〇

第六年（大正十四年） 八〇、〇〇〇

前年供託金充当ノ残額 二九、九四〇

宮内省御下賜金十三年分 一〇、〇〇〇

大正十三年末収納寄附金 四一、一九六

計 八一、一三六

大正九年度予算

収入

授業料 二、〇〇〇 四〇人一人五十円

国学院大学

一、学科、道義学科、国史学科、国文学科

二、本大学ノ授業ヲ分チテ講義及ヒ演習トシ一学年毎週二時間

ヲ以テ授業一単位トス

三、学生ハ講義及ヒ演習ヲ合セテ毎学年十単位以上ヲ学習スヘ

シ

四、本大学ニ開設スル講義及ヒ演習左ノ如シ

○ 甲種(毎学年開設スルモノ) 数字ハ単位数ヲ示ス

帝国憲法及皇室典範 一

国民道徳 三

神道 三

礼典 一

倫理学 一

教育学 一

社会学 一

東洋倫理学史 一

西洋倫理学史 一

西洋哲学史 二

宗教学 一

日本宗教史 一

国史 四

法制史 二

東洋史 二

西洋史 二

基本金利子一〇、四四二

寄附金 一三、五〇〇

其他 三〇〇

計 二六、二四二

支出

教員給 三、七七〇

其他 七、四二〇

計 一〇、三五〇

差引

残額 一五、八九二

完成年度(大正十四年) 予算

収入

授業料 一二、四〇〇

基本金利子二五、〇〇〇

寄附金 一三、五〇〇

其他 三〇〇

計 五一、二〇〇

支出

教員給 三六、八八〇

其他 一三、六二〇

計 五〇、五〇〇

神宮寄贈金六、五〇〇円
官国幣社神職団体寄贈金七、〇〇〇円

専任(予科)二人、一人一、五〇〇円
兼任 計 七、七〇〇円

予科 八〇人一人七〇〇円
学部 二〇〇人一人七〇〇円

神宮寄贈金六、五〇〇円
官国幣社神職団体寄贈金七、〇〇〇円

学部専任一〇人一人三、三〇〇円
同兼任 計 三、五七〇円
予科専任四人、一人二、〇〇〇円
同兼任 計 二、三〇〇円

参考書(其二)

史学研究法	一
古文書学	一
文学概論	一
国文学史	二
国語学	二
言語学	一
道義ニ関スル演習	四
国史ニ関スル演習	四
国文学ニ関スル演習	六
漢文学ニ関スル演習	四
西洋文学ニ関スル演習	三
○ 乙種 (二学年間三回開設スルモノ)	
国家学	一
行政法	一
民法	一
経済学	一
倫理及認識論	一
国学史	一
日本美術史	一
日本音楽史	一
歴史地理	一
有識故実	一
漢文学史	一
漢文法	一

仏教概説	一
○ 丙種 (三学年間三回開設スルモノ)	
憲法論	一
考古学	一
人類学	一
比較神話学	一
比較言語学	一
日本風俗史	一
美術史	一
音楽通論	一
図書館学	一
新聞学	一
以上ノ外科外 ^(抹消) 講義ヲ開設スルコトアルヘシ	
学生ハ三学年間ニ左記ノ必修科目ヲ学修スルコトヲ要シ	
其他ハ本大学開設ノ授業科目中ニツイテ随意選択シテ	
学修スルモノトス	
道義学科 (十六単位)	一
帝国憲法及皇室典範	一
国民道德	二
国史	一
倫理学	一
東洋倫理学史	一
西洋倫理学史	一
社会学	一

神道 二

宗教学 一

日本宗教史 一

道義ニ関スル演習 四

国史学科(十六単位)

帝国憲法及皇室典範 一

国民道德 一

国史 四

日本法制史 一

東洋史 二

西洋史 二

史学研究法 一

国史ニ関スル演習 四

国文学科(十六単位)

帝国憲法及皇室典範 一

国民道德 一

文学概論 一

国文学史 二

国語学 一

言語学 一

国史 一

国文学ニ関スル演習 五

漢文学ニ関スル講義又ハ演習 三

前条ノ必修科目ト合セテ授業単位三十以上ヲ修了シ

尚卒業論文、試験ニ合格シタル者ヲ以テ卒業生トス

参考書(其一)

同志社大学

一、大学ノ名称

同志社大学

二、学部ノ種類及各学部ノ学科

法学部

政治学科

経済学科

文学部

神学科

英文学科

三、大学院及大学予科

大学院及大学予科ヲ設置ス

四、入学資格、修学年限、学士称号及授業料

各学部入学資格

本大学予科ヲ修了シタル者、高等学校高等科ヲ卒リタル者又ハ之ト同等以上ノ学力アリト認めラレタル者

予科入学資格

中学校第四学年ヲ修了シタル者又ハ之ト同等以上ノ学

力アリト認めラレタル者

修学年限

各学部 三箇年以上五箇年以内

予科 三箇年

学士称号

法学士

文学士

授業料

学部 八十円

予科 七十五円

五、位置及校地

位置

京都市上京区御所八幡町、岡松町、相国寺門前町、新
北小路町、玄武町、築山南半町

校地面積

八千九百六十七坪余

六、校舎及設備

教室及講堂坪数(延坪)

現在分

学部

予科

計

増築分(予科)

教室及講堂数

現在分

学部

予科

計

増築分(予科)

図書冊数

洋書

和書

計

七、各学部及予科在学者定数

法文部

文学部

予科

計

八、開設当時各学部及予科専任教員

法学部

同

同

同

同

同

同

同

同

同

文学部

二六

七

一八、二六三

三四、一六〇

五二、四二三

四五〇、

一五〇、

六〇〇、

一、二〇〇、

九名

法学士

同

同

同

同

同

同

同

同

同

十六名

マスター、オブ、アーツ エスエ、ロンバード

文学士

石田憲次

理学士

内田良道

同

嶺岸四郎

石原淳太郎

同

園 頼三

九、開設期日

バチエロー、オブ、
レアチール

デイ、アイ、グロバー

大正九年四月

文学士

和田琳熊

十、経費及維持ノ方法

バチエロー、オブ、セオロジ
バチエロー、オブ、デヴキニテ
マスター、オブ、アーツ

蘆田慶治

維持ノ方法

バチエロー、オブ、デヴキニテ
ドクトル、オブ、デヴキニテ
バチエロー、オブ、フキロンフイ

デ、ダブリユ、ラーネッド

本大学ハ財団法人同志社ノ設立ニカ、リ授業料、基本

バチエロー、オブ、アーツ
マスター、オブ、アーツ

イ、エス、カープ

金利子、寄附金其他ノ収入ヲ以テ維持ス

バチエロー、オブ、デヴキニテ
マスター、オブ、アーツ

大塚節治

増築及設備ニ関スル計画

バチエロー、オブ、デヴキニテ
マスター、オブ、アーツ

ピー、エフ、シャイヴリー

予科教室（大正十年度中ニ落成）建築費六万七千三百

バチエロー、オブ、デヴキニテ
バチエロー、オブ、デヴキニテ

片桐 哲

余円ハ現在財団法人同志社ノ所有スル土地及建物（土

バチエロー、オブ、アーツ
マスター、オブ、アーツ

本宮彌兵衛

地四七七坪余、建物一一七坪余）ノ売却予定額七万七

バチエロー、オブ、デヴキニテ
マスター、オブ、アーツ

周 再賜

千二百余円ノ内ヲ以テ之ニ充テ図書購入費ハ現在同志

バチエロー、オブ、デヴキニテ
マスター、オブ、アーツ

石原 質

社所有土地一筆三百六十六坪余売却予定額五万五千余

バチエロー、オブ、デヴキニテ
マスター、オブ、アーツ

濱田與助

円ノ内ヲ以テ之ニ充ツ

予科

十名

基本財産供託ノ方法

文学士

荒木良造

供託金六十万円ハ一箇年金拾万円宛六箇年ニ分割供託

バチエロー、オブ、
デヴキニテ

速水藤助

ス

バチエロー、オブ、
デヴキニテ

吉岡義睦

各年分供託金充当ノ方法左ノ如シ

バチエロー、オブ、
デヴキニテ

ダブリユ、エル、カーナス

第一年（大正九年） 一〇〇、〇〇〇、円

文学士

草場季彦

第二年（大正十年） 一〇〇、〇〇〇、

同

久保正夫

第三年（大正十一年） 一〇〇、〇〇〇、

加藤延年

第四年（大正十二年） 一〇〇、〇〇〇、

竹林熊彦

計 四〇〇、〇〇〇、

現在所有ノ有価証券 四八四、七〇〇円

第五年(大正十三年) 一〇〇、〇〇〇、

前年供託金充当ノ残額 八四、七〇〇、

大正十二年度末収納寄附金 七六、五三三、

計 一六一、二三三、

第六年(大正十四年) 一〇〇、〇〇〇、

前年供託金充当ノ残額 六一、二三三、

現在所有土地四五坪売却予定額六八、二八七、

計 一二九、五二〇、

大正九年度予算

収入

授業料 二七、九〇〇、
予科一八〇人一人七五円
 学部一八〇人一人八〇円

基本金利子二六、九四〇

入学料其他 九、二四〇、

計 六四、〇八〇、

支出

教員給 四七、四四〇、
学部専任二人 一人一、五〇〇円
 予科専任一人 一人一、三〇〇円
 学部兼任七人 計二、三四〇円
 予科兼任三人 計六〇〇円

其他 一六、六四〇、

計 六四、〇八〇、

完成年度(大正十四年度) 予算

収入

授業料

八一、三〇〇、

基本金利子三〇、〇〇〇、

入学金其他一六、四五〇、

計 一二七、七五〇、

支出

教員給 七四、〇〇〇、
学部専任一九人一人一、五〇〇円
 予科専任一人一人一、三〇〇円
 学部兼任一人一人一、三〇〇円
 予科兼任二人計二、六〇〇円

其他 五三、七五〇、

計 一二七、七五〇、

参考書(其二)

同志社大学(学科課程)

文学部

英文学科

科目(必修)	毎週授業時間数	学年数
英語学	三	三
英文学及英文学史	六乃至一〇	三
国文学及国文学史	三	一
支那文学及支那文学史	三	一
心理学	二	一
社会学	二	一
美学及芸術史	二	一
言語学	二	一
文学概論	二	一
比較文学	二	一
教育学及教授法	二	二

卒業論文		
------	--	--

○上表中教育学及教授法ハ教員免許状ヲ欲セザルモノ、随意科目トス

○以下選択科目

希伯来語 一週二時間一ケ年

希臘語 一週二時間一ケ年

羅典語 一週二時間二ケ年

仏蘭西語 一週二時間二ケ年(高等程度)

独逸語 一週二時間二ケ年(高等程度)

○学生ハ每学年一科目以上ヲ選択シ之ヲ修了スベシ

○仏蘭西語及独逸語ノ初等程度ハ予科ニ於テ随意選択修了

セシム

但仏蘭西語ノ場合ハ予科ニ於テ科外科目トシテ有志ノモノ、為メニ設ク

神学科

学科目(必修)	毎週授業時間数	学年数
一 理論神学		
神学通論	一	一
組織神学	三	一
二 歴史神学		
基督教起元史	二	一
基督教会史及制度史	三	一
旧新西約神学発達史	三	一

三 聖書学			
新約書総論、批判、釈義	三	二	
旧約書総論、批判、釈義	三	二	
四 宗教学			
宗教史一斑及宗教哲学	二	一	
仏教史(印度、支那、日本)	二	三	
五 心理学			
心理学	二	一	
宗教心理学	二	一	
六 教育学			
教育(教)(学)原理	二	一	
(抹消)(加筆)			
宗教々育学	二	一	
七 哲学概論	二	一	
八 哲学史	三	二	
九 倫理学			
倫理学	二	一	
基督教倫理学	三	一	
一〇 社会学	二	一	
一一 希臘語	五	二	
一二 第二外国語演習(独語又ハ仏語)	三	一	
一三 卒業論文			
以下選択科目			
第二外国語(独又ハ仏)	二	一	

羅典語	二	二
文(抹消)学概論	二	一
比較文学	二	一

法学部
政治科

△ハ選択科目
△ハ随意科目

科目	第一学年		第二学年		第三学年	
	業時数	一週授	業時数	一週授	業時数	一週授
憲法	三	三	国際法	二	国際法	二
刑法総論	二	行政法	三	三	財政学	二
民法総則	四	政治学	三	三	外国書講(英、独、又ハ仏)	四
政治史	三	外国書講(英、独、又ハ仏)	四	四	○法理学	二
経済原論	四	○刑法各論	二	二	○政治学史	二
外国書講(英、独、又ハ仏)	四	○民法物権	二	二	○経済政策	二
○社会学	二	○一般国法学	二	二	○統計学	二
○哲学史	二	○外交史	二	二	△国際私論	二
△経済史	二	財政学	二	二	△社会政策	二
		△商法	四	四	△植民政策	二
		△経済原論	四	四	△経済学史	二

(政治科選択科目ハ三年ヲ通シテ四科目ヲ選択セシム、但シ政治法律ニ関スルモノニ科目以上アルヲ要ス)

経済科

科目	第一学年		第二学年		第三学年	
	業時数	一週授	業時数	一週授	業時数	一週授
憲法	三	三	商法	四	商法	二
民法総則	四	四	民法	二	経済政策	三
経済原論	四	四	経済原論	二	金融論	二
外国書講(英、独、又ハ仏)	四	四	財政学	二	財政学	二
○刑法総論	二	二	外国書講(英、独、又ハ仏)	四	外国書講(英、独、又ハ仏)	四
○商業学	三	三	○国際法	二	○国際法	二
○経済史	二	二	○行政法	二	○国際私法	二
○社会学	二	二	○農工商経済(択)	二	○経済学史	二
○哲学史	二	二	○政治学	二	○統計学	二
○政治史	三	三	△交通論	二	△社会政策	二
			△保険論	二	△植民政策	二

(経済科選択科目ハ三年ヲ通シテ五科目ヲ選択セシム、但シ商業及経済ニ関スルモノニ三科目以上アルヲ要ス)

(注記1)

(注記2)

(注記3)

(加筆・朱書)

(二二十五)

(簿冊内件名番号)

(注記4)

〔加筆・朱書
「文甲二〇同二ヨリ合ス」
同二五マテ合ス〕

(注記5)

〔四月拾日 裁可〕

(注記6)

〔宮下
印〕

(注記7)

〔加筆・朱書
「文甲二〇」〕

(注記8)

〔宮下
印〕

(注記9)

〔加筆・朱書
「文甲二二」〕

(注記10)

〔宮下
印〕

(注記11)

〔加筆・朱書
「文甲二二」〕

(注記12)

〔宮下
印〕

(注記13)

〔加筆・朱書
「文甲二三」〕

(注記14)

〔宮下
印〕

(注記15)

〔加筆・朱書
「文甲二五」〕

(注記16)

〔宮下
印〕

(注記17)

〔加筆・朱書
「文甲二四」〕

〔公文類聚 第四十四編 大正九年
卷二十四〕 2A, 11, ④1365